

## 【研修報告】 社会科部会秋季研究大会

柏陽高校 矢野 慎一

本年度の社会科部会秋季研究大会は、県立柏陽高校を会場にお借りして2011年10月19日に開催されました。内容は午前中に研究授業と研究協議があり、午後は国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のスタッフによる講演会でした。研究授業では、1年生『地理B』（地理分科会）と3年生『日本史探究』（歴史分科会）の授業を柏陽高校の教員が行い、また1年生『現代社会』（倫政分科会）の授業で弁護士による法教育の研究授業が行われました。研究授業後、参観者による研究協議が行われ活発な意見交換がなされました。

近年、社会科部会の研究大会は外部施設を会場に開かれてきましたが、本年度は学校会場でかつ研究授業を参観するという形で行われました。これは、新規採用教員に社会科部会の活動をアピールするとともに、活動への参加を呼びかけるためです。また今回は授業力向上の観点から、県立総合教育センターとの連携を図るため、研究授業に指導主事の派遣を依頼し、研究協議において指導と助言をいただきました。

当日の『日本史探究』の学習指導案を以下に掲載します。

### 地歴科『日本史探究』学習指導案

1. 日時；2011年10月19日（水） 第2時限（10:05～11:15 65分）
2. 教室；3年5組（教室棟3階）
3. 対象；3年『日本史探究』選択者29名（男子14名・女子15名）
4. 教材；教科書『詳説 日本史B』（山川出版社）
5. 単元名；「第一次世界大戦と日本」

#### （1）単元の目標

第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史について、世界情勢と国内の動きを関連付けて考察させる。特に政党内閣の成立に至る政治的な流れと、第一次世界大戦による重化学工業の急速な発展、そして東アジアとの関係を理解させる。

#### （2）単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
政党の役割と政治や社会運動の動向及び文化の特色に対する関心と課題意識を高め、都市の発達と大衆文化の成立を意欲的に追究している。	政党の役割と政治や社会運動の動向及び文化の特色から課題意識を見だし、都市の発達と大衆文化の成立と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。	政党の役割と政治や社会運動の動向及び文化の特色に関する文献、新聞、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することなどを通して、歴史的現象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	政党の役割と政治や社会運動の動向及び文化の特色に関する基本的な事柄を世界情勢と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。

6. 指導計画；

第10章 近代日本とアジア

1 第一次世界大戦と日本

大正政変（本時） 第一次世界大戦 日本の中国進出 大戦景気  
政党内閣の成立

7. 本時の学習

(1) 本時の目標

①大正政変がなぜ起こったのか。その時代の東アジアと日本の政治・外交・社会・文化の状況を理解することで、その理由を考えさせる。

②大正政変の経過・結果・影響を理解させる。

③大正政変後の政治の動きを理解させる。

(2) 本時の補助教材

①自主作成作業シート（大正政変①） ②自主作成作業シート（大正政変②）

③自主作成まとめシート（No35 大正政変・第一次世界大戦） ④問題演習（大正政変）

(3) 本時の授業の展開と評価

	学習内容	学習活動と指導上の留意点	補助教材	評価の観点
導入 20分	大正政変に至る時代背景（復習）	○日露戦争以後の東アジアと日本の諸情勢 ・国際情勢などを復習する。 ○年表をもとに、政治・外交・社会・文化・東アジアのそれぞれの分野における時代の特徴を理解する。	プリント① プリント②	資料活用の 技能・表現
展開1 20分	大正政変	○大正政変の経過を理解する。 ・帝国国防方針 ・東アジア情勢（民族運動の高揚） ・藩閥・官僚勢力と政党との対立 ・軍部と軍拡への反感 ・新時代への国民の期待と大衆行動 ・思想的背景としての大正デモクラシー ○大正政変の結果を理解する。 ・大衆行動の評価 ・二大政党による政党内閣への道を開く	プリント③	知識・理解
展開2 20分	大正政変後	○第一次山本権兵衛内閣の特質を理解する。 ・軍部の抑制 ・政党への譲歩 ○第二次大隈重信内閣の特質を理解する。 ・元老と政党の妥協の産物 ・桂园時代の否定	プリント③	知識・理解
まとめ 5分	大正政変の歴史的意義	○大正政変の歴史的意義を整理する。 ○入試問題の紹介	プリント② プリント④	思考・判断